

## 国際社会学部

# 出町 一恵

Demachi, Kazue

コース／地域 国際関係コース

ディシプリン 経済学



## 国際経済と国際金融市場

国際金融市場やそれにまつわる問題は、各国の政治・経済状況や戦争・紛争などから大きく影響を受け、また逆に影響を及ぼしながら、日々変化しています。今日の国際金融に関する理論について学ぶことで、先進国および発展途上国の経済や社会への国際経済と国際金融市場の影響について理解することができます。

## 研究紹介

教員自身はアジア・アフリカといった新興国・発展途上国のマクロ経済問題を課題にし、計量経済分析を用いた研究をしています。

## 担当授業

- 国際金融概論
- 国際金融論 I・II
- 国際経済論I・II（演習）  
など

## 関連する分野

- 開発経済論
- マクロ経済学
- マクロ経済学

## 出版物



## 国際社会学部

# 国際経済学 ゼミ

### どのようなゼミか

世界の国々は、貿易、金融、人の移動、援助や政治など様々な事柄を通じて密接につながっています。このゼミでは特に、資金と財・サービスの国際的な動きやその仕組みがどのように各国に影響を与えているか、国際金融市場が各国にどのような影響を与えているかを学んでいきます。

演習は専門科目の「国際経済学」の授業と並行で行います。演習では事前に配布するReading Listに基づいて各自文献を読み議論を行うことで、授業で扱った内容の理解を深めます。したがって、授業と演習への3年次の出席がセットになります。

なお、マクロ経済学、国際金融論、開発経済論の領域を扱いますので、1、2年生で経済学関連（ミクロ経済学、マクロ経済学、開発経済学、統計学など）の授業をできる限り履修すること、2年生で教員の担当する「国際経済概論」を履修することが強く望まれます。

また、経済統計を多く扱い、卒業研究ではデータ分析を柱とした指導を行うことから、「データサイエンス（たふDS）」関連授業（特に教員が代表となっているリレー講義など）を履修することが強く望まれます。

卒業論文については、経済や貧困の問題、国際経済、経済開発、国際金融などに関連することであれば、各自の問題意識を尊重します。ただし、しっかりとした文献・資料の読解・分析に基づいた論文を書く努力をすること、ゼミ内での議論を通じて受けた批判・指摘も謙虚に受け止め、考慮し推敲することが前提です。

なお、このゼミではほとんどの学生が4年次に実証分析を行っています。実証分析を行いたい学生は前期に開かれるゼミ内の勉強会（およびデータサイエンス関連授業）で統計学や推計の基礎を学ぶ必要があります。

### 卒論

- 貿易結合度から見たASEAN経済統合の進展・後退要因に関する実証分析
- フィリピン海外就労者の送金が経済成長と家計支出にもたらす影響についての実証分析
- 公共投資が経済に与える影響—東名高速道路と第二東名高速道路のデータを用いた実証分析
- 途上国援助は誰のためか—フランスによる ODA の動機に関する実証分析

…など

### おススメの本

- ヴィジャイ・プラシャド『褐色の世界史』水声社、2013年。
- フィリップ・コガン『紙の約束』日本経済新聞社、2012年。
- ジャレド・ダイヤモンド+ジェイムズ・A・ロビンソン編『歴史は実験できるのか』慶應義塾大学出版会、2018年。
- ジャン・ティロー『良き社会のための経済学』日本経済新聞出版、2018年。